

令和7年度(前期) 科目等履修生・聴講生 受入科目

科目名	教員名	曜日／時限 回(コマ)数 単位数	受入人数の上限	期待する勉学の姿勢(履修・聴講条件)	上限を上回る場合の選抜の方針	学期	備考
植生景観構造論	藤原 道郎	木曜／2時限 15回(コマ) 2単位	4名程度	人と自然の関わりを学ぼうとする意欲があること。生態学に関する基礎知識があることが望ましい。	セミナーや研究生など他のコースを紹介	1前	
樹木植栽管理論	大藪 崇司	月曜／1・2時限 8回(コマ) 1単位	4名程度	高校生物(光合成や植物体の構造など)についてある程度の興味と知識を持ち、科学的な視点を持ち合わせていることが望ましい。		1前	
樹木植栽管理演習	大藪 崇司	木曜／3・4時限 15回(コマ) 通年2単位	4名程度	高木に登っての剪定作業や屋外での土木作業が主となるため、自己安全を第一とするとともに身体管理が可能であること。共同作業も伴うため他者への安全管理、時間通りの出席、体力を必要な活動にも積極的に取り組むこと。		通年	個人用の手鋸・剪定鋏・作業用の服装は必須。天気・その状況により演習が順延されることがあるが、その場合、集中講義期間・土曜での開講とする。通年開講のため、前期、後期を分けて履修は不可能である。
里地里山の保全管理論	澤田 佳宏	月曜／2時限 8回(コマ) 1単位	4名程度	里地里山の保全に関心があること。	上回る場合は、授業時間とは別に、同内容でセミナーを開講することとして、全員を受け入れる。	1前	
緑環境景観政策論	(平田 富士男)	火曜／2時限 15回(コマ) 2単位	4名程度	緑環境を活かしたまちづくり政策やまちづくり活動の現場で、その活動に実際に取り組んでいこうとするため、必要となる知識や技術を身につけようとする勉強姿勢を期待する。	履修希望者が受け入れ上限を上回る場合は、研究生、科目履修生、聴講生の優先順で受け入れる。そのうえで、さらに同種の受講生だけで上限を上回る場合は、面接を行い、履修の動機、履修後の方向性などを聞き左記の方針に照らして、それにより合致する志望者を受け入れる。	1前	

※科目名、教員名については令和6年度の状況で掲載しています。